

青少年学習センターでバスの乗り方教室を実施

9月11日(日)、相模原市立青少年学習センターにおいて、同施設で活動する団体が主体となり活動発表や地域交流を行うイベント「yフェスティバル」が開催され、同イベントに会場した方を対象として、株式会社相模神奈交バス及び相模原市が連携してバスの乗り方教室を実施しました。

この教室は、路線バスの乗り方や車内マナーに関する説明を通じて、路線バスを身近に感じてもらうとともに、公共交通の役割・必要性について考えてもらうことを目的としたモビリティ・マネジメント()推進事業の一環として実施したもので、今年で3回目となり、99人の方が参加されました。

また、当日は、乗り方教室と併せて、ぬり絵やペーパークラフトの体験コーナーを設け、多くの方に楽しんでいただいたほか、昨年に続き、大野北地区コミュニティバス利用促進協議会が、現在実証運行中の大野北地区コミュニティバスのPRを行いました。

市では、このような取り組みを進めることで、バスの利用促進につながることを期待しています。

モビリティ・マネジメント

個々人の移動性について、過度な自動車利用から公共交通へ転換してもらい、社会的にも個人的にも望ましい方向へ変化を促すコミュニケーションを中心とした交通施策。免許を持たない学生などには、自動車利用のメリット・デメリットを学習し、自ら考えてもらうことで自動車利用の習慣を防ぐことなどが期待されます。

(問い合わせ先)
交通政策課
直通：042-769-8249

<当日の様子>

